



振動応用技術で、世界をひらく

## 高周波48Vシリーズ

### 配電箱 取扱説明書



DB3・DB4

★お買い上げありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

**エクセン株式会社**

( 801109000 1303 )

## ☆ 安全情報

- ☆ この製品は、高周波バイブレータ48Vシリーズの電源分岐用の配電箱です。高周波バイブレータ48Vシリーズを使用する目的以外では使用しないで下さい。
- ☆ 製品の安全性については、十分に配慮していますが、この説明書の警告、注意をよく読んで正しくお使い下さい。また、電源機器及び高周波48Vバイブレータの取扱説明書もよくお読み下さい。
- ☆ 下記の表示は、万一にも他人や自分に障害や損害を与えることのないように、この製品を使用して頂く為の警告表示・注意表示です。



### 警告

(WARNING)

【警告】は、死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示です。



### 注意

(CAUTION)

【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示です。

 **警 告**

(死亡事故を受けない為に)

-  この製品は、水・湿気・塵などのある場所では使用しないで下さい。感電する恐れがあります。
-  電源機器の運転中におけるプラグの抜き差しは、行なわないで下さい。感電する恐れがあります。
-  この製品は、高周波48V専用です。48V以外の電圧では使用しないで下さい。感電する恐れがあります。

 **注 意**

(障害や損害を受けない為に)

-  ケーブルを配電箱に接続した状態で引っ張らないで下さい。配電箱が転倒したり、ケーブルの導体が断線する恐れがあります。
-  この製品には、雨や水が掛からないように心がけて下さい。電源機器やバイブレータなどの故障の原因になります。

## ○ ま え が き

この度は、高周波バイブレータ48Vシリーズの配電箱、DB型をお買上げ頂きありがとうございます。  
とうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読んで下さい。

この製品を十分に理解して、適切な取扱いと点検整備を行ない、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願い致します。尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

## も く じ

☆ 安全情報	1	○ 接続方法	8
⚠ 警告	2	○ 使用後の清掃・搬出	9
⚠ 注意	2	○ 点検	9
○ ま え が き	3	○ 故障診断	9
○ 安全		○ 仕様	10
⚠ 注意	4	○ 製品寸法	10
作業上身を守る為に		○ エクセン指定サービス店	11
⚠ 注意	5	○ S I 単位換算表	11
末永く使用して頂く為に			
○ 各部の名称	6		
○ システム構成	7		

## ○ 安全



(作業上身を守る為に)

- パイブレータを使用する場合は、安全帽・防振手袋・安全靴・顔面保護具（保護眼鏡・マスク）および安全ベルトを着けて、安全な装備で行なって下さい。



安全帽着用



防振手袋着用



安全靴着用



顔面保護具着用



安全ベルト着用

- この製品を点検する場合は、電源機器に接続しているケーブルを必ず外して下さい。感電する恐れがあります。



(未永く使用して頂く為に)

- ⚠ バイブレータのプラグは、接触不良にならないよう確実に接続して下さい。接触不良は、バイブレータが故障する主な原因の一つです。
- ⚠ 許容電流を越えないように使用して下さい。許容電流を越えますと、故障の原因になります。

### DB 3 型

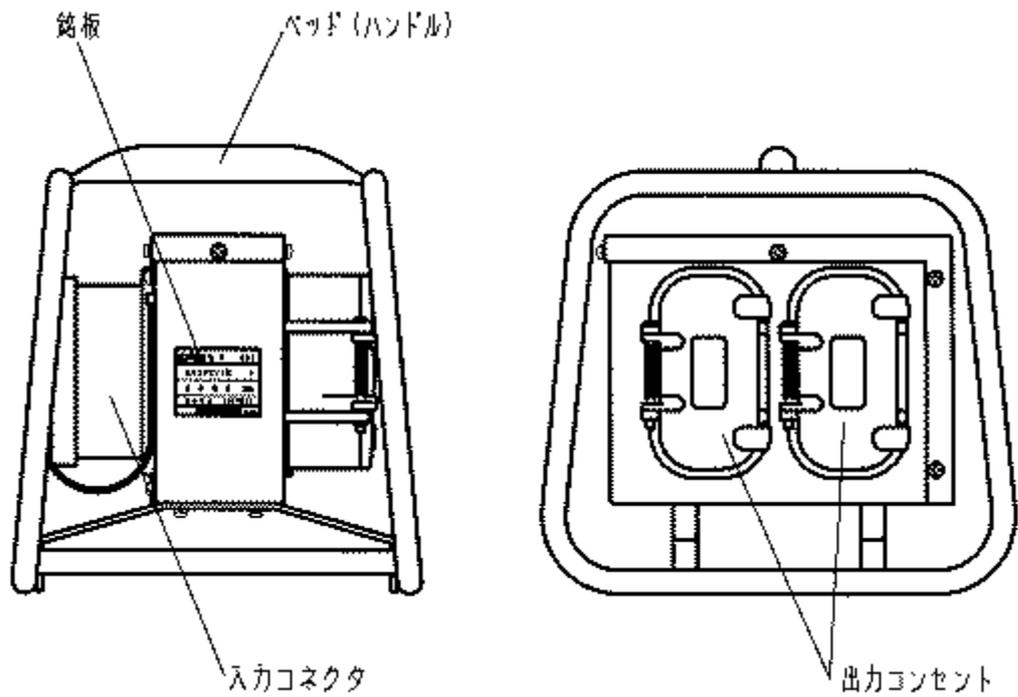
- 配電箱に付いているゴム製のコネクタが入力、樹脂製コンセントが出力になっています。間違えないで下さい。
- バイブレータは3台まで使用できますが、入力用コネクタの許容電流は30Aです。合計で30Aを越えないようにして下さい。

### DB 4 型

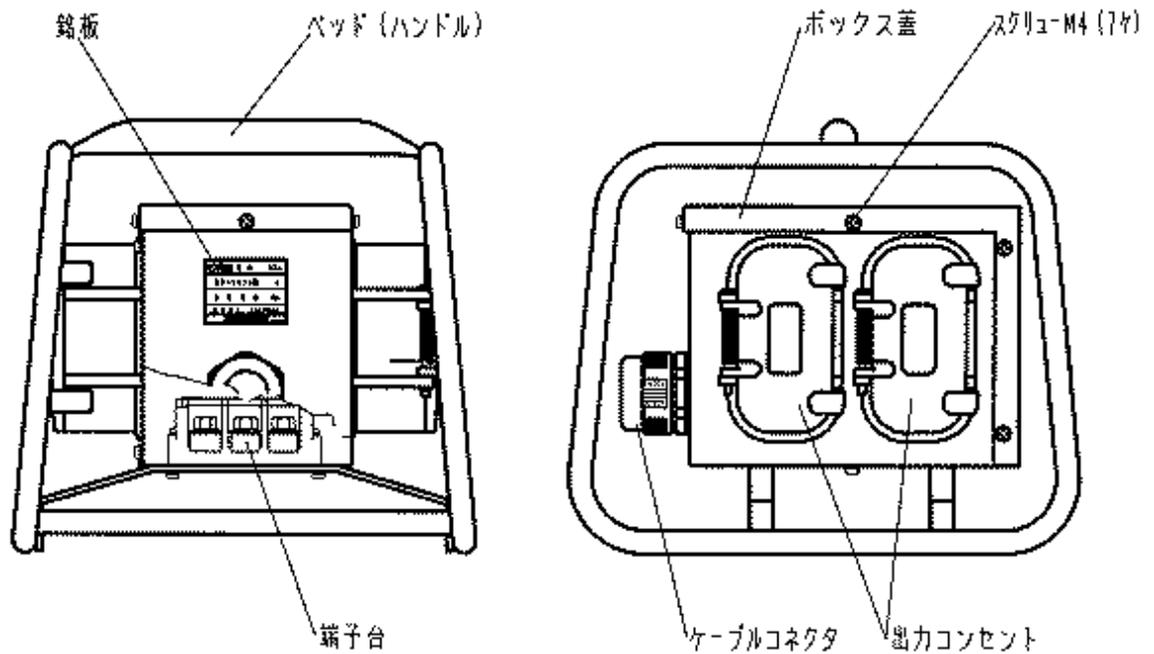
- 配電箱への入力ケーブルは、5.5mm<sup>2</sup> から14mm<sup>2</sup> まで使用できますが、出来る限り太いケーブルを使用して下さい。
- バイブレータは4台まで使用できますが、出力コンセント1ヶ当り30Aを越えないようにして下さい。また、合計で70Aを越えないようにして下さい。
- 配電箱への入力ケーブルは、電源機器の出力端子盤に接続して下さい。

## ○ 各部の名称

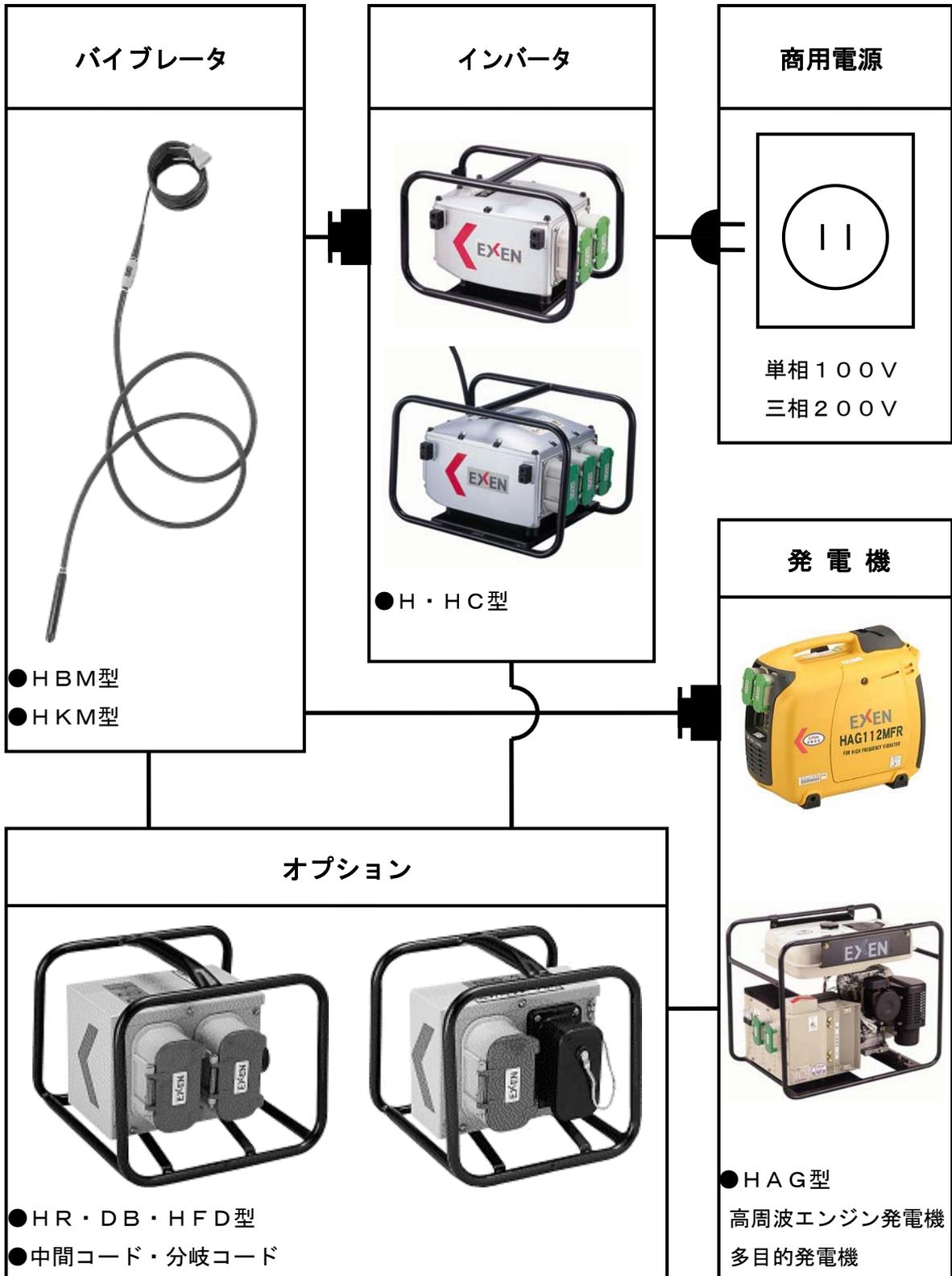
### ■ DB 3 型



### ■ DB 4 型



## ○ システム構成



## ○ 接続方法

**⚠** この製品を接続する場合は、必ず電源機器の入力電源が“OFF”である事を確認して下さい。電源機器が運転中に接続作業を行なうと、感電する恐れがあります。

### DB3型

1. 中間ケーブルを準備して、電源機器の出力コンセントに片方を接続し、もう一方を配電箱のゴム製の入力コネクタに接続します。
2. 高周波バイブレータのプラグを配電箱の出力コンセントに接続します。
3. 電源機器を運転します。
4. バイブレータのスイッチを“ON”にします。
- ※ 合計電流が30Aを越えないようにして下さい。
5. 作業が終了したら、バイブレータのスイッチを“OFF”にします。
6. 配電箱の出力コンセントからバイブレータのプラグを抜きます。

### DB4型

1. 配電箱のボックス蓋を固定しているスクリーンを外し、ボックス蓋を取り外します。
2. 入力用ケーブルをケーブルコネクタに通し、端子台に接続します。ケーブルコネクタを手で締め付けて、ケーブルを固定します。
- ※ ケーブルに使用する圧着端子は、5mm穴のものを使用して下さい。
3. 接続が終了したら、ボックス蓋を取り付けてスクリーンで固定します。
4. 高周波バイブレータのプラグを配電箱の出力コンセントに接続します。
5. 電源機器を運転します。
6. バイブレータのスイッチを“ON”にします。
- ※ 合計電流が70Aを越えないようにして下さい。
7. 作業が終了したら、バイブレータのスイッチを“OFF”にします。
8. 配電箱の出力コンセントからバイブレータのプラグを抜きます。

## ○ 使用後の清掃・搬出

- 使用後は、きれいに清掃して下さい。
- 配電箱に付いたコンクリートは、固まらないうちに落して下さい。
- 出力コンセントやコネクタに付いた埃やコンクリートは、きれいに落して下さい。
- 持ち運びは、ベッドのハンドル部分を持って運んで下さい。

## ○ 点 検

- この製品は、定期的に必ず次の項目を点検して下さい。使用中のトラブルを出来るだけ少なくする為です。
- 出力コンセントの接続子に汚れや摩耗など発生していないか？
- 配電箱に接続するケーブルに摩耗や亀裂など発生していないか？

## ○ 故障診断

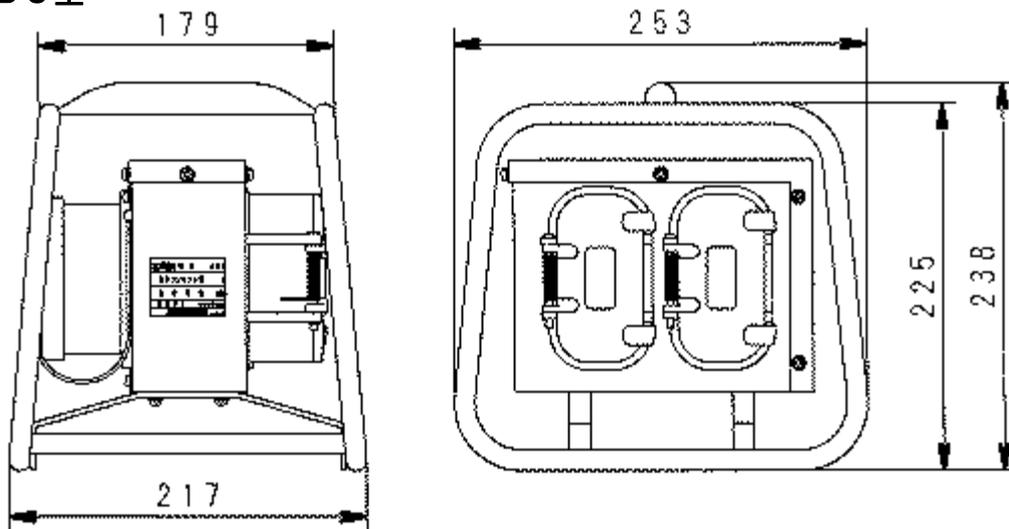
症 状	原 因	処 置
バイブレータが 運転できない	入力ケーブルの断線	修理または交換
	内部配線の断線	修理または交換
	プラグの接続不良	接続のやり直し

## ○ 仕 様

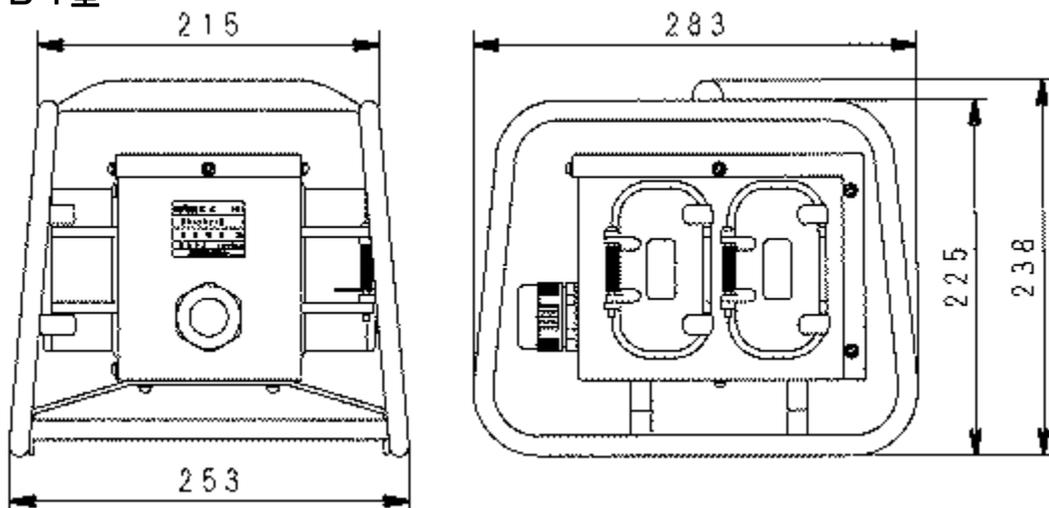
型 式	電 圧 (V)	合計電流 (A)	出力コンセント数	適用電源サイズ 仕上り外径 (mm)	質 量 (k g)
DB 3	4 8	3 0	3	—	3.5
DB 4		7 0	4	1 3 ~ 2 4	4.3

## ○ 製品寸法

### ■ DB 3 型



### ■ DB 4 型



## ○ エクセン指定サービス店

○ 共成電機工業(株)	〒060-0041	札幌市中央区大通東5-4	TEL 011-241-8604 FAX 011-241-8605
○ 三協電機	〒983-0025	仙台市宮城野区福田町南 1-4-22	TEL 022-258-2952 FAX 022-258-2952
○ 鍋谷電機工業(株)	〒950-0922	新潟市中央区山二ツ 3-30-20	TEL 025-286-0022 FAX 025-286-0023
○ (株)岡田電業社	〒334-0076	川口市本蓮 1-2-18	TEL 048-229-2408 FAX 048-229-2409
○ (有)テクノナカコ	〒453-0855	名古屋市中村区烏森町 7-321-2	TEL 052-482-9779 FAX 052-471-5697
○ 大同機材(有)	〒577-0827	東大阪市衣摺3-11-6	TEL 06-6729-5710 FAX 06-6729-2950
○ 愛神電機(株)	〒761-8083	高松市三名町字大下 739-7	TEL 087-866-3411 FAX 087-866-3412
○ 三和機電工業(株)	〒813-0034	福岡市東区多の津 5-13-6	TEL 092-621-7130 FAX 092-621-7135

## ○ S I 単位換算表

項目	SI単位	従来単位	換算率1 (SI単位→従来単位)	換算率2 (従来単位→SI単位)
振動数・打撃数	Hz	v.p.m	1Hz = 60v.p.m	1v.p.m = 1/60Hz
回転数	min <sup>-1</sup>	r.p.m	1min <sup>-1</sup> = 1r.p.m	1r.p.m = 1min <sup>-1</sup>
遠心力・起振力	kN	kgf	1kN = 101.97kgf	1kgf = 0.00980665kN
トルク	N・cm	kgf・cm	1N・cm = 0.10197kgf・cm	1kgf・cm = 9.80665N・cm
トルク・打撃エネルギー	N・m	kgf・m	1N・m = 0.10197kgf・m	1kgf・m = 9.80665N・m
衝撃力	kg・m/s	kg・m/sec	1kg・m/s = 1kg・m/sec	1kg・m/sec = 1kg・m/s
圧力	MPa	kgf/cm <sup>2</sup>	1MPa = 10.197kgf/cm <sup>2</sup>	1kgf/cm <sup>2</sup> = 0.0980665MPa
真空圧力	kPa	mmHg	1kPa = 7.5mmHg	1mmHg = 0.133322kPa
真空圧力	kPa	Torr	1kPa = 7.5Torr	1Torr = 0.133322kPa
秒速	m/s	m/sec	1m/s = 1m/sec	1m/sec = 1m/s
時間(秒)	s	sec	1s = 1sec	1sec = 1s
容量・体積	L	l	1L = 1l	1l = 1L
流量・消費量	L/h	cc/h	1L/h = 1000cc/h	1cc/h = 0.001L/h
流量・消費量	L/h	l/h	1L/h = 1l/h	1l/h = 1L/h
流量・揚量	L/min	l/min	1L/min = 1l/min	1l/min = 1L/min
容量/回	NL/回	NI/回	1NL/回 = 1NI/回	1NI/回 = 1NL/回
容量	L	cc	1L = 1000cc	1cc = 0.001L
馬力・出力	kW	PS	1kW = 1.3596PS	1PS = 0.7355kW
加速度	m/s <sup>2</sup>	G	1m/s <sup>2</sup> = 0.10197G	1G = 9.80665m/s <sup>2</sup>

# EXEN 振動応用技術で、世界をひらく エクセン株式会社

本社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
東京建機支店	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8451	FAX 03-3432-7709
東京産機支店	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8453	FAX 03-3432-7709
大阪支店	〒560-0085	豊中市上新田 4-6-8	TEL 06-6831-3008	FAX 06-6871-4282
九州支店	〒811-1314	福岡市南区的場 2-6-15	TEL 092-586-1200	FAX 092-586-1099
札幌営業所	〒002-8005	札幌市北区太平 5 条 2-5-35	TEL 011-772-0861	FAX 011-772-0903
仙台営業所	〒983-0025	仙台市宮城野区福田町南 1-4-22	TEL 022-259-0531	FAX 022-259-0568
名古屋営業所	〒465-0057	名古屋市名東区陸前町 1807	TEL 052-703-9977	FAX 052-703-1412
広島営業所	〒733-0841	広島市西区井口明神 3-2-6	TEL 082-278-6868	FAX 082-278-6871
海外営業部	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8452	FAX 03-3434-8368
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473

URL <http://www.exen.co.jp/>